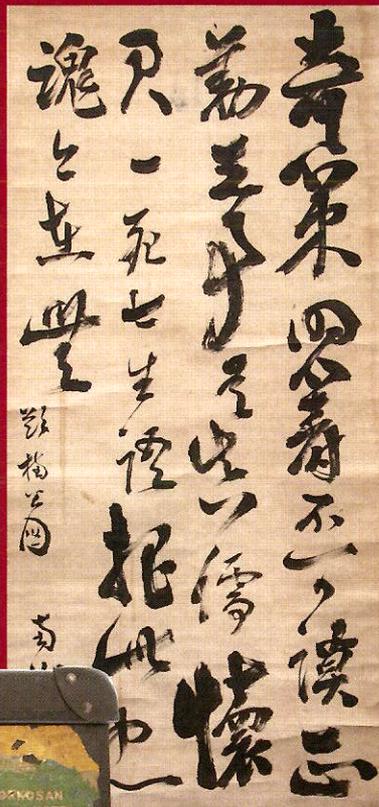
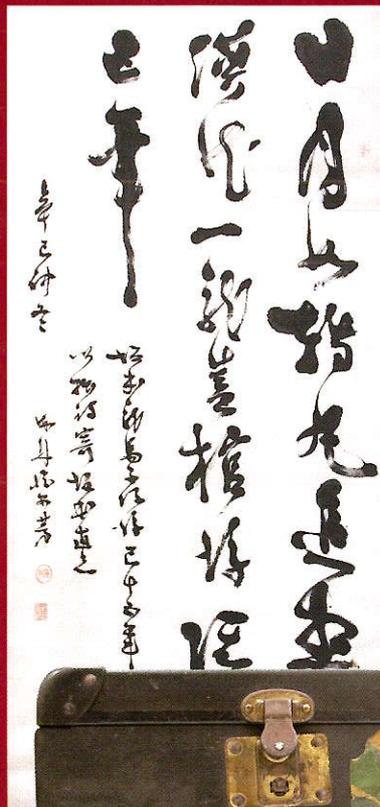
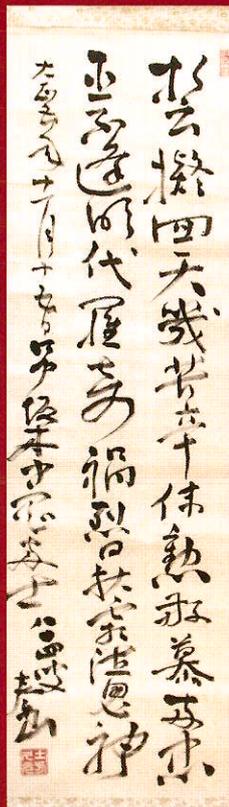


土方久元書

勝海舟書

西郷隆盛書

(全て坂本家所蔵 当館寄託)



トランク (坂本弥太郎使用)

高知県立坂本龍馬記念館 令和7年度企画展

「郷士坂本家の秘蔵」展

会期 2026年2月11日(水・祝)~4月7日(火)



高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum



〒781-0262 高知県高知市浦戸城山 830 TEL 088-841-0001 FAX 088-841-0015
E-mail ryoma@ryoma-kinenkan.jp <https://ryoma-kinenkan.jp>

開館時間/9:00~17:00 最終入館/16:30 観覧料/一般900円(20名以上の団体720円)、高校生以下無料

高知県または高知市の長寿手帳をお持ちの方(ご本人様)は観覧料が無料。
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方(ご本人様)と介護の方1名は観覧料が無料。

主催 高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)
後援 高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、共同通信社高知支局、時事通信社高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、エフエム高知



ホームページ

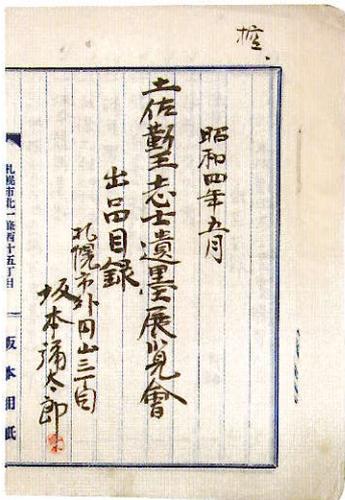
「郷士坂本家の秘蔵」展

近世土佐の豪商として知られる才谷屋。明和8年(1771)、才谷屋3代八郎兵衛直益は長男の兼助を郷士とさせ、次男の八次に本家・才谷屋を相続させました。

以降、兼助の家系は才谷屋の分家・郷士坂本家となり、現在に至るまで続いています。

坂本龍馬は郷士坂本家の3代目当主八平の子として生まれており、龍馬の遺品や関係者の書画類の一部は同家にて長年秘蔵されていました。

本企画展では郷士坂本家より当館に寄託された資料群を中心に、龍馬の遺品や同時代を生きた人々の書画類に加え、没後に作成された龍馬を顕彰する品々をご紹介します。



▲土佐勤王志士遺墨展覧会出品目録控 (坂本家所蔵 当館寄託)



▲中岡慎太郎坂本龍馬遭難五十年記念写真 (坂本家所蔵 当館寄託)



▲公文菊徳画東郷平八郎賛坂本龍馬肖像 (坂本家所蔵 当館寄託)



▲坂本龍馬佩刀 (脇差備前国長船勝光宗光 (当館所蔵))

関連企画

記念講演会

- 講師 坂本匡弘氏 (坂本龍馬子孫 郷士坂本家10代目)
- 日時 3月14日(土) 13:30~15:00
- 定員 70名(要申込、先着順)
- 会場 高知県立坂本龍馬記念館新館 1階ホール

電話・FAX・メール・HPお問い合わせフォームにてお申し込みください

聴講無料

学芸員による展示解説

- 日時 ①2月15日(日) 14:00~ ②3月14日(土) 11:00~ (各回30分程度)

申込不要 (直接企画展示室へお越しください)

無料 (要観覧券)

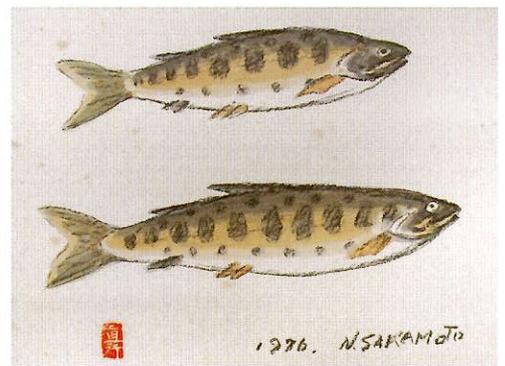
関連イベント

本物そっくり!ミニ掛軸を作ろう!

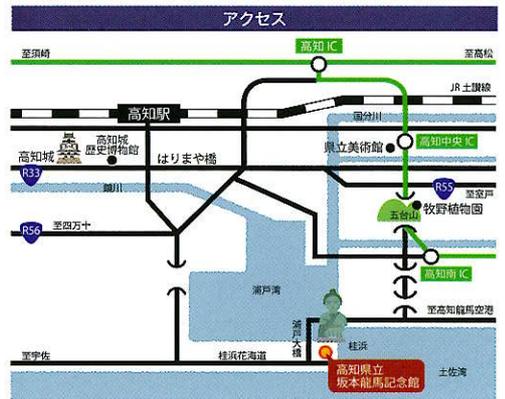
- 日時 2月23日(月・祝) 14:00~15:00
 - 定員 20名(要申込、先着順)
 - 対象年齢 小学生~大人
 - 会場 高知県立坂本龍馬記念館新館 1階ホール
- 電話・FAX・メール・HPお問い合わせフォームにてお申し込みください



参加費無料 (要観覧券)



▲坂本直行絵画 ヤマメ(当館所蔵)



- JR高知駅からさでん交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車徒歩約2分
- 高知駅発着で龍馬記念館などをめぐるバス「MY遊バス」(1日乗り放題)も利用できます。毎日運行
- 車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知インターから約25分
- 駐車場:普通車42台(うち障がい者用駐車場2台)、バス4台